

質問

南小の分離新設を 考えないのか

答弁

今後、児童数が急激に 増加することはない

問 令和9年度に宮司の新設小学校が開校すれば、福岡小の児童数は急激に減少する。南小校区は、現在も開発工事やマンション建設が進んでいる。南小の児童数は高止まりが続くが、分離新設を行わないで教育環境を改善できるのか。

答 南小校区は児童数増加の予測だが、急激ではないと考える。できる限りの過大規模校対策を行う。

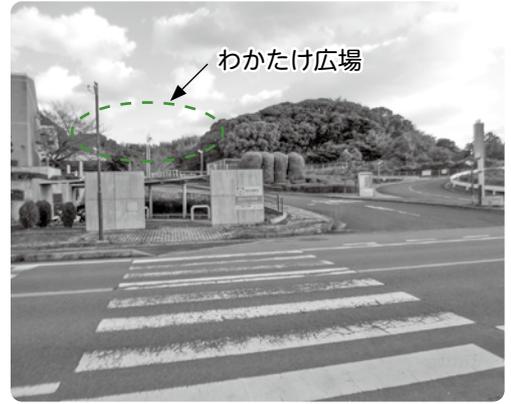


横山 良雄

問 宮司の新設校予算は約56億2300万円。財源確保が困難なら、用地買収や防災上のかさ上げ、擁

答 過大規模校対策がまずは重要。津屋崎中・福岡東中の増加も考慮し、整備が必要と考えている。

- 【その他の質問】
- ・福岡浄化センター内植栽等管理業務委託について
 - ・副市長の選任について



市有地であるわかたけ広場に新設校を

質問

带状疱疹ワクチン 助成を検討しては

答弁

定期接種化など今後の 国の動向を注視したい

問 带状疱疹は50〜70歳代の3〜4人に1人の確率で発症し、重症化すると後遺症として長く神経痛が残る。コロナ禍でのストレスで患者の増加と若年化が懸念されている。市民の健康を守り、生活の質の低下を防ぐため、ワクチン接種の一部助成ができないか。

答 同ワクチンは現在、任意接種で全額個人負担となっている。ワクチンの有効性、安全性などに関するデータ収集が厚生労働省で行われ、定期接種化の必要性が検討されているため、今後注視していく。



中村 晶代

答 農作物や一般家庭の有害鳥獣による被害が年々増加している。安全な生活を維持するため対策は重要である。住宅地周辺の対策は、動物の餌になるものを放置しない、果実は落ちる前に収穫、侵入防止フェンスを設置などである。駆除は、専門業者に依頼する。山林管理は、自治会からの申し出により持ち主に文書で通知を行う。

質問

住宅地周辺の鳥獣被害について



コロナ禍で増加している带状疱疹

問 近年、住宅街に山から降りてきて庭を荒らす鳥獣被害の訴えが多くなっている。道路では車との衝突も懸念される。山林の管理も含め、市の見解は。



石田 まなみ

質問 まちづくりの市民参画が必要では

答弁 行政の民主化の観点から住民の意思を入れる

問 市の付属機関である審議会や委員会への市民公募の流れは。

答 募集は市の広報に掲載し、800字程度の論文と必要事項を添えての応募となる。応募者多数の場合は書類選考で決定する。

問 審議会の中で、委員の方から熟考したいとの理由から開催回数増加の意見が出たが。

答 審議会にもよるが、勉強会という形式を活用するなど、対応を考えた。

問 審議会や委員会によっては女性委員の登用率が低い。

答 市全体としては目標値の40%を上回っているが、様々な立場の方が積極的に参加できるように担当部署と協議調整を続けていく。

問 条例に基づく情報の共有や説明責任についてはどう考えるのか。

答 まちづくりの基礎となる大変重要な部分と考えて、市民に目線を合わせた取り組みを心がけたい。

【その他の質問】
・副市長の選任について



審議会によっては市民の傍聴も可能



中村 清隆

質問 スポーツ推進施策の今後の展開は

答弁 スポーツ推進には何をすべきか考えて取り組む

問 スポーツに関する相談体制は。

答 今年度、体育協会ホームページを作成するため、協議中である。協会加盟以外の団体については、検討していく。

問 計画では学校体育施設開放の推進が挙げられているが、取り組みは。

答 来年度からネット予約システムを導入し、体制を整備していく。

問 国はスポーツに特化した課の創設を促しているが、その考えは。

答 スポーツ施策に応じた必要な組織体制を検討していきたい。

問 災害時の避難所について
高齢者や障がい者の対応は。

答 ワンタッチパーテーション、段ボールベッドなど避難者に寄り添った整備を精査し対応していく。

問 指定緊急避難場所の考えは。

答 住宅街の神興東小は一部が土砂災害警戒区域であるため、福岡東中を指定している。福岡南小は洪水浸水想定区域だが、浸水時は教室棟の利用を想定している。



机上論にならないようにスポーツ推進計画の実行を



田中 純子

質問 福中改築校舎は24学級の適正規模か

答弁 適正規模超の30学級1200人の校舎を建設

問 児童・生徒数増加のピーク時およびピーク時以降における、長期的視野で想定している市全体のリスク管理と対策は。

答 ピーク時は、一人当たりの校舎面積、運動場面積が狭くなり、教育活動に支障が生じると考えられる。今後は新設校建設、校舎の増築や改修、教職員の増員などで改善していく。また、ピーク時以降のリスクは、空き教室の発生などがあげられるが、空き教室の用途など、将来を見据えた長期的な視点での計画が必要と考えている。

答 福間中学校は適正規模を超える1000人の学校である。事業途中に想定生徒数が1440人となった。まずは、1200人の学校を建設し、残り5年間は仮設校舎で対応する計画だった。市民説明は重要。透明性を持って進めたい。



新設校の必要性が市民に伝わっているのか



戸田 進一

質問 保育士離職の実態調査が必要では

答弁 毎月の配置基準で実態を把握している

問 市の法定待機児童はゼロだが、実質待機児童は189人。待機の原因等の把握は。

答 内訳は、特定の保育園希望が124人、育休延長希望が43人、企業主導型保育園を利用が15人、幼稚園を利用が7人。送迎等の関係で特定園を希望される事が多い。

問 待機児童解消の方策は。

答 子ども・子育て支援事業計画の必要な見直し、利用できる保育園等の情報提供をする必要がある。

答 定例監査の他、毎月の配置基準を確認。また、保育士の過重負担がないよう入園調整もしている。

【その他の質問】

- ・ 学校給食のアレルギー対応は
- ・ 学校の過密解消、緩和について

問 市内の保育園で、保育士の大量離職の情報は把握しているのか。

答 多くの保育士の離職情報は把握しており、複数園で発生している。

問 大量の保育士の離職は、子どもたちに悪影響が生じる。実態把握が必要ではないか。



保育士の処遇改善で、安心保育を



福井 崇郎

質問 津屋崎地区の観光による活性化策は

回答 観光交流を図り、地域活力向上を目指す

問 津屋崎地区は津屋崎干軒と一体となり、観光資源などを生かした活性化を目指している。進捗は。

答 歴史的景観の保全再生が行われている。伝統的建造物の保存・活用では、民間主導で取り組みが継続している。今後は、地域事業者や住民とも連携して民間事業者主導の観光まちづくりを推進する。

問 津屋崎の既存公共施設を企業誘致などで活用し、面的に整備して活性化し、住民の暮らしにも還元することが必要である。見解は。



津屋崎のまちなみや景観を次の世代に

回答

津屋崎の中心部の整備は、そこに暮らし住民との合意や調和を図りながら進めることが重要である。

特に、夕陽館は住民の暮らしと一緒にあった公共施設である。同時に、観光の施設でもある。この施設の再生が重要で、放置することは絶対に考えられない。

また、旧魚正の跡地と連携して2点合わせて、津屋崎の中心エリアの観光の活性化に資する計画を民間の力を借りて進めたい。

【その他の質問】

・中期財政見通しについて
・次代の地域を担うひとづくりについて

質問 夕陽館は4月に開館できるのか

回答 条件を整え令和5年度に事業者を公募したい

問 夕陽館の利用者は、そんなに待ってられない。請願も採択しており一日も早い開館が望まれる。考え直しはできないか。

答 今の時点で、直営または指定管理で夕陽館を再開するという計画は持ち合わせていない。

問 事業者に行ったサウンディング調査（夕陽館を再開するための情報収集）の方法で、若手職員あるいは興味のある職員に対して職員提案制度を活用するなど、提案を求めたことはあるのか。



榎本 博

答 そういった意見を職員から聴取したことはない。

問 市が一丸となって夕陽館の活用について情報共有すれば、新たな情報が入る可能性がある。津屋崎地域の観光活性化のために、ぜひ取り組んでもらいたいと思うが。

答 若手職員の柔軟な発想が必要だと認識している。市全体として重要な施策として位置づけており、意見が出やすい方法を模索したい。職員提案制度を活用するか、それとも地域振興部を中心に意見を募るのか、その辺は柔軟に考えていきたいと思う。



再開が急がれる夕陽館



尾島 武弘

2校新設の合意が覆された理由は

【答弁】 財政的に厳しく小学校のみ新設を市長が承認

【問】 市長は令和3年12月、教育委員会から申し出の小学校1校、中学校1校新設の方向性に同意した。しかし、令和4年11月にそれを覆し、小学校1校の建設予算しか付けないとした。方針変更の理由は。

【答】 中期財政見通しの説明を受け、政策調整会議で協議した。財政的に厳しいとの理由から、小学校1校の新設を10月17日の庁議で市長の承認を得て決定した。

【問】 二人の教育委員が、昨年12月の合意内容と違うこと、市長の教育



高騰対策で購入費の一部が補助される肥料

行政への介入を理由に辞意を示された。これに対し市長の見解は。

【答】 二人の教育委員の発言を真摯に受け止め、その真意がどこにあるのか確認したい。

▼農業資材等の高騰について

【問】 燃油、肥料、収入保険の一部補助は何年度までなのか。

【答】 令和4年度までの事業である。

【問】 来年度以降も電気代を含め、高騰対策の補助をするべきでは。

【答】 国、県の動向をみて検討する。

教育委員会として必要な新設校数は

【答弁】 小学校1校と中学校1校が必要と考えている

【問】 南小学校では、理科の実験観察が満足にできていないのではないかと。理科室は何教室必要か。

【答】 理科室ですべての授業が行えない状況である。満足にできていないわけでない認識している。必要理科室は、3教室以上である。

【問】 現在、図工室をどのように使っているか。大きな工作台の行方は。

【答】 図工室は、特別支援学級として使用。工作台は、ブルーシートで覆ってベランダに置いている。



下山 昭博



行き場を失い使用されず、ブルーシートに覆われた南小学校の工作台

【問】 教育委員会は、福岡中学校区に新設校が何校必要と考えるのか。

【答】 本来なら小学校2校と中学校1校が必要だが、令和3年度の総合教育会議以降、小学校1校・中学校1校新設での基本計画を作成していた。その後、財政的に困難との理由から、小学校1校での予算化業務を行っている。各1校で2校必要との考えは変わらない。

【問】 複数の教育委員が辞職願を出した。学校建設との因果関係は。

【答】 お二人の辞職の報告があった。しっかりと考えをお聞きしたい。

賛否表

11月臨時会

下記議案については全員賛成で承認・可決

- 承認第6号 専決処分した事件の承認について（令和4年度福津市一般会計補正予算（専決第2号））
- 議案第44号 令和4年度福津市一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第45号 工事請負契約を締結することについて

12月定例会

修正

結果	議案名	議員名	福井	森上	秦	石田	八尋	田中	中村	尾島	下山	高山	中村	蒲生	横山	戸田	榎本	椋村	米山	江上
			崇郎	晋平	浩	まなみ	浩二	純子	晶代	武弘	昭博	賢二	清隆	守	良雄	進一	博	公彦	信	隆行
可決	議案第46号 福津市一般職の職員の給与に関する条例を改正することについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
可決	議案第47号 福津市の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正することについて		○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
可決	議案第48号 福津市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例を改正することについて		○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
可決	議案第49号 令和4年度福津市一般会計補正予算（第5号）について		○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	議案第56号 福津市部設置条例を改正することについて		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可決	発議第7号 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ーは欠席 *は棄権

下記議案については全員賛成で可決

- 議案第50号 令和4年度福津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第51号 令和4年度福津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第52号 令和4年度福津市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第53号 令和4年度福津市公共下水道事業会計補正予算（第2号）について
- 議案第54号 福津市職員の定年等に関する条例を改正することについて
- 議案第55号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第57号 福津市消防団員の定員、任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例を改正することについて
- 議案第58号 福津市公民館条例を改正することについて
- 議案第59号 福津市体育施設及び福津市武道館の指定管理者を指定することについて
- 議案第60号 財産の取得について

12月臨時会

結果	議案名	議員名	福井	森上	秦	石田	八尋	田中	中村	尾島	下山	高山	中村	蒲生	横山	戸田	榎本	椋村	米山	江上
			崇郎	晋平	浩	まなみ	浩二	純子	晶代	武弘	昭博	賢二	清隆	守	良雄	進一	博	公彦	信	隆行
可決	議案第61号 令和4年度福津市一般会計補正予算（第6号）について		*	○	*	*	○	*	○	○	*	○	*	○	○	*	○	○	○	○

※議長は表決に参加しません ○は賛成 ●は反対 ーは欠席 *は棄権

特別委員会室の中継を始めます



特別委員会室中継のイメージ

6月定例会から特別委員会室の中継を開始するにあたり、3月定例会で試行中継を行います。
これにより、本会同様、パソコン・スマートフォンでの視聴が可能になります。また、議会終了後10日以内に録画配信も行います。

中継する委員会 予算審査特別委員会

ご視聴はこちらから
福津市議会ホームページ→議会中継・録画配信





この4年間、議長として「中立・公平」の姿勢を貫きながら、議事運営に臨むことができたと自負しております。また、議員各位が憲法で規定されている全体の奉仕者として、市長はじめ執行部と建設的な政策論議を展開してくれました。そして、議会広報調査特別委員会委員各位が「議会の見える化」をめざし、議会だよりの紙面作りに取り組んでくれたことに感謝しております。

結びに、市民の皆様が福津市議会へ熱い視線を注いでいただきましたことに感謝申し上げますとともに、さらに「議会を見よう化」に努めてくださることに期待を寄せながら、議長退任のご挨拶いたします。

福津市議会前議長
江上 隆行

議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ

2月20日(月) 開会
3月20日(月) 閉会予定

日程等は変更になる場合があります。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴人数を制限させていただく場合があります。

最新情報はこちらへ。



託児サービスがあります

傍聴希望日の5日前まで(土・日・祝日除く)のお申し込みが必要です。詳しくは、議会事務局(0940-43-8144)まで。

議会の動画を配信しています

本会議の様子をインターネットで生中継・録画配信しています。スマートフォン・パソコンでも視聴ができます。

ふんちゃんを探せ!
ふんちゃんクイズ 答え

① 男性14人・女性4人
② 高山賢二議長
③ 0歳から22歳
④ 3人

今回は、あんずの里にある子ども広場の場面です。子どもの遊ぶ様子に寄り添いながら、子どもの成長を暖かく包み込むような親の姿が表現されているようです。作者の作画に向けた思いをご紹介します。

〈小田さんのコメント〉
この運動公園に向いたのは春ではなかったのですが、展望園地から海まで見渡せる景色が感動的で美しく目に映りました。眼下の「あんずの里」の文字をかたどった植木や、芝生広場も綺麗に整備されていました。眺めていても、歩いていても、想像以上に気持ち良さを感じました。春をイメージして、子ども広場で遊ぶ子どもや親子のありようを想像して描きました。



作者 おだ ちよみ
住所 若木台在住

議会広報調査特別委員会

発行責任者	高山 賢二
委員長	福井 崇郎
副委員長	中村 晶代
委員	中村 恵輔
	山本 祐平
	井手 忠信
	石田 まなみ

本年1月24日より、新たな任期が始まりました。本号では、議会が市政の中でどのような役割を担っているか分かりやすく紹介しています。二元代表制の議事機関として、さらに積極的な審議を行っていきます。

議会広報調査特別委員会も新体制でスタートしました。引き続き、特集の充実や議会活動の紹介・解説などを意欲的に、手を取りたくなる紙面づくりを実現していきます。

これからも、議会が市民の皆さんの身近に感じられるよう、委員と共に取り組みますので、よろしく願います。

(福井 崇郎)

編集後記